

平成28年度 ニシン漁獲物調査速報(6)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月10日朝の東しゃこたん漁協(古平地区)荷受け分の漁獲物測定調査を実施しましたので、結果を報告します。東しゃこたん漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

序盤から15入が大半を占める展開は相変わらずですが、漁獲物の平均体重は315gと型がいくぶん小さくなってきました。

2. メスの完熟率(表1)

沖合深みでの混獲のため湾奥ほど成熟は進んでおらず、15入サイズで32%、18入で14%が完熟状態でした。なお、今回の漁獲物標本にはヌケはほとんど見られておらず、今期の主体である5年魚についても未だ相当に未熟な個体もあり、これまでの速報でもご説明してきたとおり、やはり今期は成熟の進行が全体的に遅れている(一句程度か)ように見受けられます。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長組成は相変わらず5年魚(2012年級)主体ですが、その割合は全体の53%で、次いで40%が4年魚(2013年級)で占められていました。この状況から、今期の主体である5年魚やそれ以上の高齢群についてはその多くが現在湾奥に展開しており、こられがまもなく産卵を終えると湾内は資源量の少ない4年魚の割合が高まっていくとともに漁獲がやや低調になっていくのではないかと思われます。

銘柄	15入	18入	合計
漁獲重量kg(10日荷受分)	4,454.72	32.27	4,487.0
漁獲尾数	14,130	126	14,256
測定尾数	30	36	66
測定尾数(精密)	30	36	66
平均尾叉長(mm)	296	280	295.9
平均体重(g)	315	256	314.7
雌の比率	0.63	0.58	—
完熟率*	0.32	0.14	—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

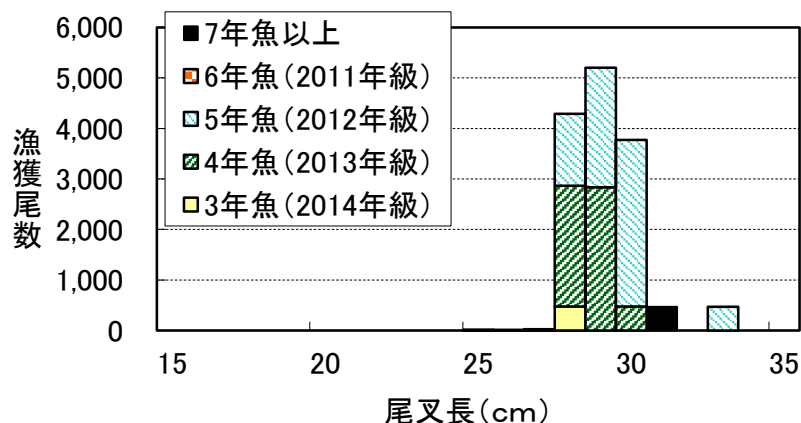


図1 2017年2月10日古平地区 年齢別尾叉長組成